

爭議團幹部、實已包含在內也

長谷川壽松

解雇手書

四十一系

共済金

勤続二年七月

豊岡 利市

七十五系

五十三系

三年九月

佐山 勇

四十八系

三十四系

四年四月

陶山 義雄

五十九系

四十一系

五年二月

包金合計壹萬二千餘十元、爲一職工側佐山、豊岡、中村、三代表、餘  
二金額が少く一人當り平均九十円十元爲二大い、立腹、直ニ該包金ヲ交  
返シ更ニ爭議團本部ニ於テ緊急協議會ヲ開キ各自ノ意見ヲ纏ヒ所  
何ニ會社ノ處置ニ對シテ憤慨シ提出シ辭表ヲ撤回スルト并ニ十日ヲ從前  
通リ出勤スルト決セリ(少數ノ多リ包金ヲ充テト喜ビテ歸國セシモノアリ)  
職工等ヲ民衆「解雇前二週間、豫告、義務」ヲ指シ尙就業ノ權利  
了レ者ト多ク十日午前六時頃、爭議團連中約百名入場セテ職工通用門ニ

來リタル會社側ニ彼等ニ對テ堅ク門ヲ鎖シテ入門セシメヤリキ

午前十時、長谷川、豊岡等古名ノ代表者リ、布施工場長ヲ訪問シ、

「解雇手書ハ甚ク少クシテ、且最底ヲ倍額ニセラレタシ」

ト要布セルモ、布施工場長ハ

「會社トシテ、被レ以上諸君ニ提供スルト能クハ、幾一萬二千餘ノ二割ヲ自

分ノホケアトマネーヨリ出ヌ故ニソレニテ辛抱シテ如何」

ト答ヘタルニ、職工代表等リ、コレニテ満足ス、午後二時、再會ヲ約シテ歸リ

コノ會見ノ間、會見ノ類本ヲ閉カント、門前ニ待テ居リ、職工約百名ハ革命

歌ヲ傳歌ヲ唱ヒテ、盛ニ示威運動スリ

以上